

平成23年3月31日

## お知らせ

### 資料提供先

岡山県政記者クラブ  
岡山市政記者クラブ  
倉敷市政記者クラブ

## 高梁川において大規模な樹木伐採を実施しました

近年、高梁川・小田川において樹木の繁茂が著しく進行しており、洪水の流下阻害となることが懸念されています。また、河川の中の樹木は洪水時に流木化し橋梁等に引っ掛かってせき上げする危険があるほか、不法投棄を助長するなど、河川を管理する上で様々な支障となります。

そのため、当事務所ではこれら樹木群の伐採を進めており、特に今年度は高梁川において約69万 m<sup>2</sup>(マスカットスタジアムのグラウンド約46面分※に相当)に及ぶ大規模な伐採を行いました。

また、樹木伐採により発生した伐採木については、資源の有効活用ならびにコスト縮減の観点から、小切りして無料配布しており、地域住民の方々から大変ご好評をいただきました。

※マスカットスタジアムのグラウンドを約15,100m<sup>2</sup>として算定。

### ●問い合わせ先

#### 国土交通省中国地方整備局 岡山河川事務所

〒700-0914岡山市北区鹿田町2丁目4番36号

電話番号 (086) 223-5194 (管理第一課 直通)

FAX番号 (086) 232-4195

(担当) 副 所 長 植田 憲治 (内線205)

管理第一課長 長畑 利彦 (内線331)

事務所ホームページアドレス : <http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>

# ■ 樹木伐採の概要(高梁川・小田川)

## ● 樹木伐採の目的

近年、高梁川・小田川において樹木の繁茂が著しく進行しており、洪水の流下阻害となることが懸念されています。また、河川の中の樹木は洪水時に流木化し橋梁等に引っ掛かってせき上げする危険があるほか、不法投棄を助長するなど、河川を管理する上で様々な支障となります。

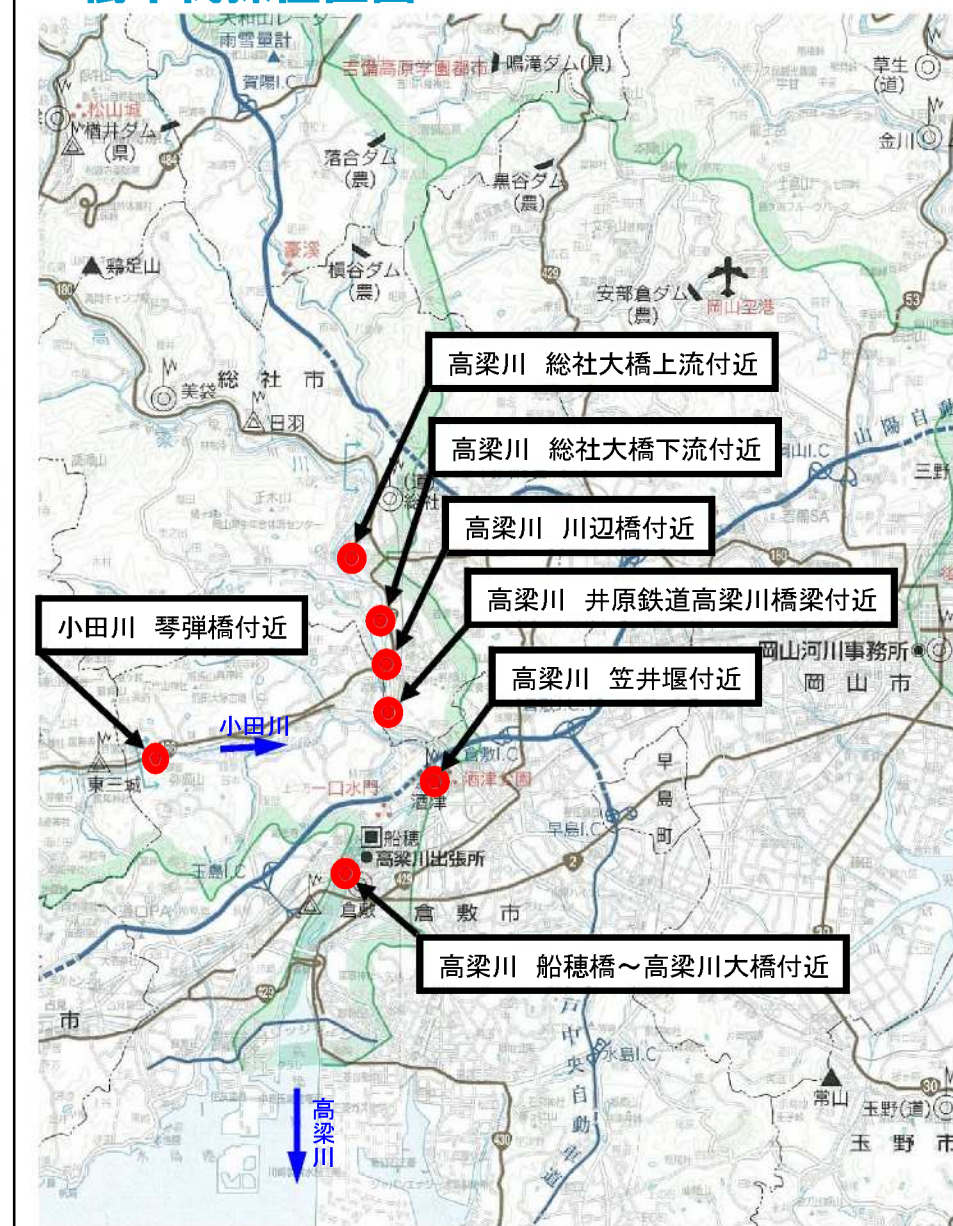
そのため、これらの河川を管理する岡山河川事務所では、このような樹木の伐採を行っています。



## ● 平成22年度の伐採箇所・面積

伐採箇所	面積(m <sup>2</sup> )
高梁川 総社大橋上流付近	146,300
高梁川 総社大橋下流付近	216,000
高梁川 川辺橋付近	32,100
高梁川 井原鉄道高梁川橋梁付近	114,600
高梁川 笠井堰付近	107,000
高梁川 船穂橋～高梁川大橋付近	67,100
小田川 琴弾橋付近	6,200
合計	689,300

## < 樹木伐採位置図 >



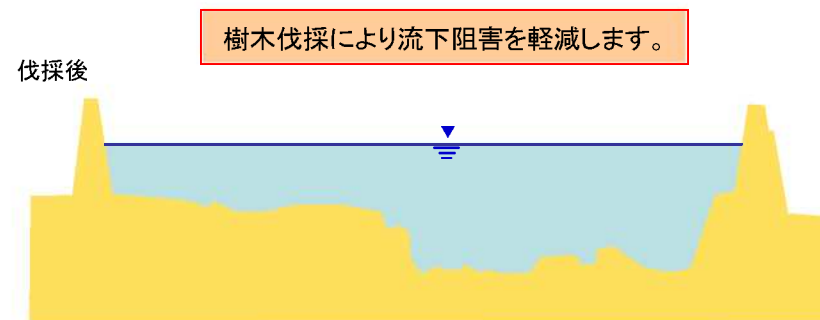
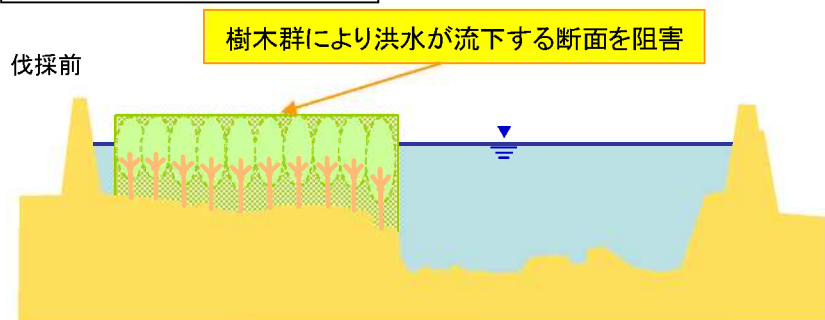
## ■ 樹木伐採の効果(1)

樹木伐採の効果としては、『洪水の流下阻害の軽減』、『流木化の危険性の軽減』、『不法投棄の抑制』、『景観の保全』などがあります。

### ● 洪水の流下阻害の軽減

今回、洪水の流下を阻害していた樹木群を伐採したことにより、洪水が流れやすくなります。

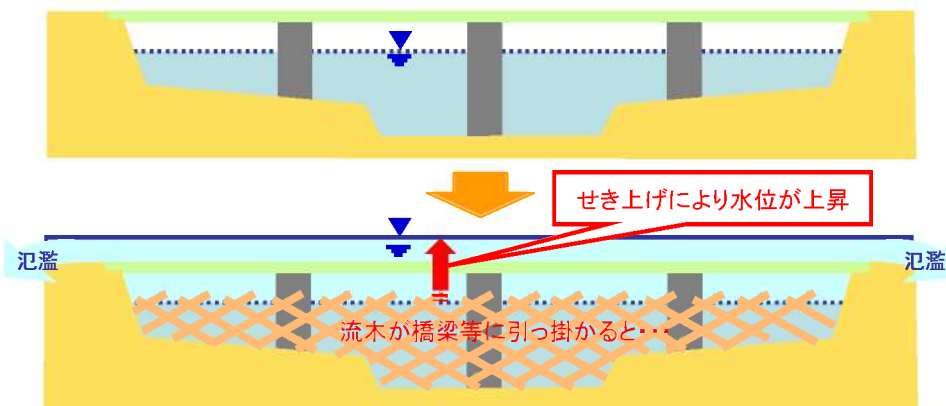
(例) 総社大橋付近



## ■ 樹木伐採の効果(2)

### ● 流木化の危険性の軽減

河川内の樹木は、洪水時に流木となり、橋梁等に引っ掛かってせき上げし氾濫する危険性があり、樹木伐採によりこのような危険性を軽減します。



▲流木によるせき上げのイメージ



▲橋脚流木がに引っ掛りせき上げが生じた事例

### ● 不法投棄の抑制

樹木の繁茂は不法投棄を助長する場合があります、樹木伐採により抑制します。



▲目の届きにくい河川内樹木群内に不法投棄された大量のゴミ

### ● 景観の保全

樹木の繁茂は、広々とした川らしい景観を損ねるだけでなく、洪水時にゴミが引っ掛かり美観を損ないます。



▲洪水で流されたゴミが樹木に引っ掛かり美観を損ねている状況

## ■伐採木の無料配布

樹木伐採により発生した伐採木については、資源の有効活用ならびにコスト削減の観点から、下表のとおり小切りして無料で配布しました。

これにより、約300万円の処分費が縮減されました。

なお、この伐採木の無料配布は地域の方々に大変喜ばれており、毎回早朝から行列ができるほどの盛況ぶりで、用意した伐採木のほとんどがその日の内になくなるほどの人気でした。(合計約37,000本配布。)

配布場所	配布日時
総社市真壁地先 (真壁)	平成23年3月4日(金)8:30～ 配布本数:約7,500本(残 約1,000本)
総社市富原地先 (富原)	1回目:平成23年1月28日(金)8:30～ 配布本数:約4,500本 2回目:平成23年2月25日(金)8:30～ 配布本数:約6,000本
総社市清音上中島地先 (清音)	平成23年2月10日(金)8:30～ 配布本数:約3,500本
倉敷市真備町川辺地先 (川辺)	1回目:平成23年2月4日(金)8:30～ 配布本数:約4,000本 2回目:平成23年2月18日(金)8:30～ 配布本数:約4,000本
倉敷市水江地先 (水江西)	1回目:平成22年12月22日(水)8:30～ 配布本数:約4,000本(残 約500本) 2回目:平成23年1月21日(金)8:30～ 配布本数:約2,000本
倉敷市西阿知町西原地先 (西阿知)	平成22年12月24日(金)8:30～ 配布本数:約3,000本

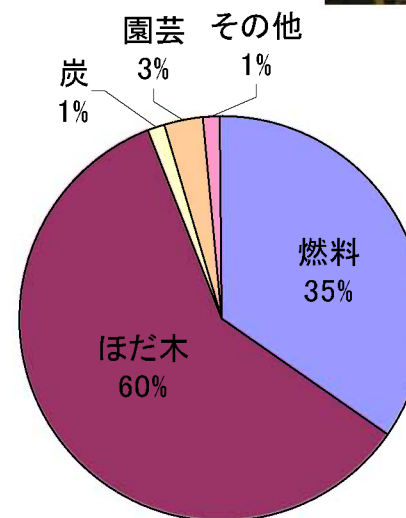
▲伐採木の無料配布状況



▲配布状況(水江)



▼配布状況(清音)



▲伐採木の利用目的

アンケート調査(2月10日)で、伐採木の利用目的として最も多かったのは、キノコ類(ヒラタケ等)を栽培するための『ほだ木』として利用するというもので、その次に薪ストーブ等の『燃料』としてするという結果となりました。